

■正誤問題 （過去に出題された選択肢）15問

足場に関する問題です。○×で回答して下さい。

答えが×になった場合は、どこが間違っているのかも考えてみましょう。

1. 丸太足場の地上第一の布は、高さが2.7mの位置に設けた。
2. 丸太足場の建地の間隔は、2.5mとした。
3. 単管足場の建地の間隔が、けた行方向1.8m、はり間方向1.5mのとき、建地間の最大積載荷重は、500kgと表示した。
4. 高低差が2mの架設通路の勾配は、30度とした。
5. 足場板を長手方向に支点の上で重ね、その重ねた部分の長さを20cm以上とした。
6. 単管足場の建地の間隔を、けた行方向、はり間方向とも1.8mとした。
7. 単管足場の壁つなぎの間隔を、垂直方向、水平方向とも5mとした。
8. 単管足場の地上第一の布を、地盤面からの高さ2mの位置に設けた。
9. 足場における高さが2.5mの場所に設けた作業床において、墮落の危険がある箇所には、高さ85cmの手すりを設けた。
10. 高さが12mの枠組足場における壁つなぎの間隔を、垂直方向、水平方向とも8mとした。
11. 単管足場の建地の間隔は、けた行方向1.8m、はり間方向1.5mとした。
12. 高さ2mの位置に設ける作業床の幅は、40cmとした。
13. 足場材の緊結、取りはずし、受渡し等の作業を行う場合の足場板の幅は、20cmとした。
14. 足場における高さが2.5mの場所に設けた作業床で、墮落の危険のある箇所には、高さ70cmの手すりを設けた。
15. 単管足場の建地の間隔が、けた行方向1.8m、はり間方向1.5mのとき、建地間の最大積載荷重は、400kgと表示した。

■正誤問題 解答編

1. 丸太足場の地上第一の布は、高さが 2.7m の位置に設けた。

1. ○

2. 丸太足場の建地の間隔は、2.5m とした。

2. ○

3. 単管足場の建地の間隔が、けた行方向 1.8m、はり間方向 1.5m のとき、建地間の最大積載荷重は、500kg と表示した。

3. × 単管足場の建地の間隔は、けた行方向を 1.85m 以下、はり間方向を 1.5m 以下とし、建地間の積載荷重は 400kg を限度とすること。

4. 高低差が 2m の架設通路の勾配は、30 度とした。

4. ○

5. 足場板を長手方向に支点の上で重ね、その重ねた部分の長さを 20cm 以上とした。

5. ○

6. 単管足場の建地の間隔を、けた行方向、はり間方向とも 1.8m とした。

6. × 単管足場の建地の間隔は、けた行方向を 1.85m 以下、はり間方向を 1.5m 以下としなければならない。

7. 単管足場の壁つなぎの間隔を、垂直方向、水平方向とも 5m とした。

7. ○ 単管足場の壁つなぎの間隔は、垂直方向 5m 以下、水平方向 5.5m 以下としなければならない。

8. 単管足場の地上第一の布を、地盤面からの高さ 2m の位置に設けた。

8. ○



9. 足場における高さが 2.5m の場所に設けた作業床において、墜落の危険がある箇所には、高さ 85cm の手すりを設けた。

9. ○

10. 高さが 12m の枠組足場における壁つなぎの間隔を、垂直方向、水平方向とも 8m とした。

10. ○ 高さが 5m 以上の枠組足場における壁つなぎの間隔は、垂直方向 9m 以下、水平方向 8m 以下とします。

11. 単管足場の建地の間隔は、けた行方向 1.8m、はり間方向 1.5m とした。

11. ○

12. 高さ 2m の位置に設ける作業床の幅は、40cm とした。

12. ○

13. 足場材の緊結、取りはずし、受渡し等の作業を行う場合の足場板の幅は、20cm とした。

13. ○

14. 足場における高さが 2.5m の場所に設けた作業床で、墜落の危険のある箇所には、高さ 70cm の手すりを設けた。

14. × 高さが 2m 以上で、墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には、高さ 85cm 以上の手すりを設けます。

15. 単管足場の建地の間隔が、けた行方向 1.8m、はり間方向 1.5m のとき、建地間の最大積載荷重は、400kg と表示した。

15. ○

覚える数値が
ややこしいですが
頑張って下さい。

